

「光合成と人工光合成について」

主催 京都府中小企業技術センター

植物は太陽の光を浴びて二酸化炭素と水から、酸素と自分の栄養を生み出しており、この反応は「光合成」と呼ばれます。この光合成の仕組みが人工的に再現され、実用化できれば、クリーンエネルギーの創出が可能となり、エネルギー問題や環境問題などの解決に貢献できます。そのため、人工光合成は注目を浴びています。

そこで、光合成と人工光合成の講師をお迎えし、研究や最新の話題について御講演いただきます。

□ 日 時 平成30年3月27日（火） 13：30～16：30

□ 会 場 京都府産業支援センター 5F 研修室

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134（七本松通五条下ル）
京都市リサーチパーク東地区内

□ 内 容

◇「太陽光をつかまえろ！光をとらえる樹のデザイン」

【講 師】神戸大学大学院 農学研究科 森林資源学分野 准教授 石井 弘明 氏

【内 容】樹木は陸上で最も巨大な生物です。その体を作り出しているのは光合成による一次生産であり、樹木が集まる森林は巨大な光エネルギー利用工場です。成熟した森林は、大きさや生理特性が異なる様々な樹木によって構成され、光合成器官である葉は、梢から地面までとぎれることなく分布しています。季節性や光利用様式の異なる多数の樹木が、時間・空間的に光エネルギーを相補利用することによって、森林全体のエネルギー利用効率が高まり、光合成生産量が増大します。本講演では、ワークショップ形式により、樹木の光利用に関する知見を太陽光発電にどう応用するか、参加者の皆さんと一緒に考えます。

◇「人工光合成の社会実装へ向けた取り組み」

【講 師】大阪市立大学人工光合成研究センター 所長 天尾 豊 氏

【内 容】太陽エネルギーを利用し、二酸化炭素を炭水化物に変換し生命活動を維持している光合成反応を模倣した太陽エネルギー利用技術や二酸化炭素の利用技術（いわゆる人工光合成技術）に関する研究は古くから進められてきました。本講演では、太陽光エネルギーを利用した水素製造や二酸化炭素利用技術の基礎的な研究例を紹介し、さらに大阪市立大学で進めている人工光合成研究を活用した社会実装へ向けた取り組みについても紹介します。

◇意見交換

□ 受講料 無 料

□ 定 員 40名（※ 定員を超えた場合、その旨ご本人に連絡します。）

□ 申込方法 裏面の参加申込書をご利用の上、FAXまたはE-mailで申込みください。

□ お問合せ 京都府中小企業技術センター 応用技術課 表面・微細加工担当

TEL 075-315-8634 FAX 075-315-9497

E-mail ouyou@kptc.jp

京都府中小企業技術センター 応用技術課 表面・微細加工担当 宛

(FAX: 075-315-9497)

平成29年度第2回ナノ材料応用技術セミナー

「光合成と人工光合成について」申込書

企業名 (所在地)	〒	
連絡担当者	氏名	所属
	TEL	FAX
	E-mail	

参加者氏名	所属・役職

* 申込書にご記入いただいた個人情報は、本研修会参加者名簿として利用させていただきます。なお、各種セミナー等に関する情報を当センターが発行するメールマガジン等でお知らせすることがあります。

<会場、交通のご案内>

場 所 : 京都府産業支援センター 5F研修室

住 所 : 京都市下京区中堂寺南町134 (七本松通五条下ル) 京都市リサーチパーク東地区内

アクセス : JR丹波口駅より西に徒歩5分

